

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 令和6年度活動報告会・海外視察報告会を開催しました

10月15日（火）に森林文化アカデミーにて4つの委員会の活動報告会及び6月にドイツにて開催されたKWF 林業機械展2024視察報告会を行いました。19団体から36名の会員が参加しました。

各委員会の主な報告内容は以下のとおりです。

○新たな森林経営委員会

林業労働安全勉強会/林業事業体経営研修会/環境譲与税に係る勉強会/無人ヘリを活用した広葉樹資源量の調査検証など

○森林整備・育成委員会

省力化等林業機械勉強会/森林サービス産業先進地視察/ミニシンポジウム「野生動物管理と獣害対策を考える」など

○木材生産改善委員会

油圧式集材機・架線式グラップルのデモンストレーション/農業用トラクタの活用実証事業/会員相互の現場視察・意見交換会/BSC工法による法面緑化の試験施工など

○木材利用拡大委員会

広葉樹用材の集荷体制構築に向けた意見交換会/広葉樹3種における曲木試験/広葉樹を活用した非住宅木質化プロダクト開発/木質バイオマス研修会など

海外視察報告会では、森林文化アカデミー 准教授 ^{すぎもと かずや} 杉本和也氏と同校クリエイター科1年 林業専攻 ^{わたなべ くみこ} 渡邊久美子氏が報告しました。渡邊氏の海外視察は、コンソーシアム10周年記念事業の一つとして実現しました。渡邊氏からは展示機械、出展企業を紹介したうえで、会場の雰囲気や現地の人々の林業に対する熱意や現地で見たと林業機械・技術の日本への導入の検討結果などをお話いただきました。

▼裏面に続く



活動報告会の様子



実績報告する森林整備・育成委員会委員長 古川氏 [(有) 古川林業 専務]



実績報告する渡邊氏 [クリエイター科1年 林業専攻]

● LiDAR SLAM*技術によるフォワーダ自動走行デモンストレーション見学会を開催しました

10月24日(木)、10月25日(金)に「LiDAR SLAM技術によるフォワーダ自動走行デモンストレーション見学会」を開催しました。

土木現場や農業用地における車両走行はGNSS（衛星測位システム）を使用した自動運転化が進んでおりますが、林業現場では樹冠や斜面の影響でGNSSの測位精度が低く、また通信環境が悪いことから自動運転化は難しいとされています。しかし、そのような環境でも自動走行が可能となるLiDAR SLAM技術を搭載したフォワーダを森林総合研究所、(株) 諸岡、パナソニックアドバンステクノロジー (株)、(株) 国際電気通信基礎技術研究所、東京農工大が共同開発しました。自動走行フォワーダの運用により、労働災害の軽減、生産性の向上や人材不足の解決などが期待されています。

今回開発した自動走行フォワーダは、初めに人が運転し林道を走行することで、構造物や環境などを認識し、その後自動走行を行うものです。

開発用試験地外での自動走行は今回が初めてであり、前進、後進、スイッチバックを行う様子を見学したほか、参加者が自ら運転し実際に走行した道を自動運転に切り替えて走行する体験を行いました。体験者からは「運転の再現度が高い」や「操縦の手間がなく快適」との声が挙がりました。

共同開発を行った森林総合研究所 なかざわまさひこ 中澤正彦氏によれば、3年後に実用化予定であり、今後はより安全に自動走行ができるように研究、開発、法律の整備などを行っていくとのことです。



見学会の様子



自動走行しているフォワーダ



LiDAR SLAM 技術の説明をする中澤氏
[森林総合研究所]

*自分がいる位置の推定と周囲の環境の構造把握を同時に行う技術

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行： 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp